

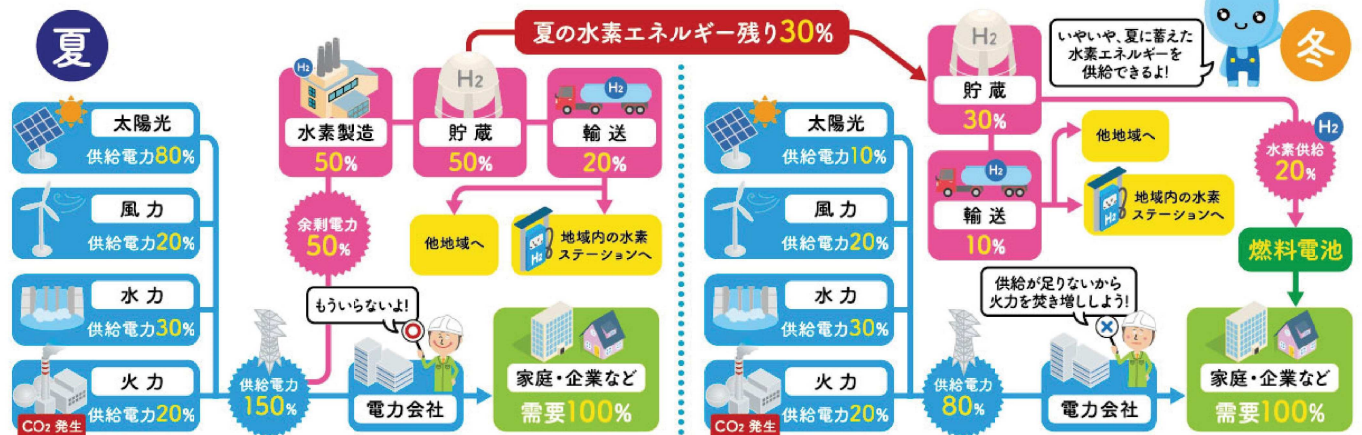
# 『水素社会実現』を目指して

## 『水素社会実現』により再生可能エネルギーの導入拡大を図ります

福島市では、「原子力に依存しない社会づくりへの貢献」として、市、市民、事業者が一体となった再生可能エネルギーの導入を積極的に推進しています。一方で、主に太陽光発電については、日射量の増加などで需要に対して供給が多すぎる場合があります。この再生可能エネルギーの余剰電力を活用し、水を電気分解して水素を製造・貯蔵することで、水素の「貯蔵性に優れ、運搬が可能」という特性を活かしたエネルギーの需給調整が可能となります。

### 再生可能エネルギーの余剰電力で水を電気分解して水素を製造・貯蔵し有効に活用

#### 再生可能エネルギーの気象条件等に左右されやすい性質をカバー



## 『水素社会実現』イメージ

- ・水素社会とは、従来の化石燃料を主とするエネルギー源に代わり、温室効果ガスを排出しない水素エネルギーを日常生活や産業で活用する社会と捉えています。
- ・福島市を中心とする地域において、燃料電池自動車(FCV)や純水素型燃料電池など水素をエネルギー源とする製品が普及し、それらを不自由なく身近で利用できる社会を目指します。

